

※裏面の「安全上の注意」を先にお読みになり正しく使用してください。  
 ※組立前にケース内容を確認してください。

【骨組寸法】  
 間口：約137cm  
 奥行：約181cm

**保存**

# 軽トラック幌KH-7 部材表

【2202】

NO.	品名	規格	数量	形状	NO.	品名	規格	数量	形状
<b>A セット</b>									
①	前後屋根用パイプ	25×167mm cm	2		⑫	固定用ゴムバンド	60cm	24	
②	中屋根用パイプ	25×157mm cm	2		⑬	固定用ロープ	4×100mm cm	8	
③	パイプジョイント ③-WAY 部品	BJ0039 25用	12		⑭	絞りクリップ		2	
④	T型ジョイント	28×25K-④	4		⑮	ケーブルタイ	200mm 黒	12	
⑤	T型ジョイント	28×25K-③	4		⑯	幌幕	KH-7 KH-1814兼用	1	
					<b>B セット</b>				
⑥	中柱	22用	8		⑰	脚用パイプ	25×113(S) mm cm	4	
⑦	蝶番	25×19	4		⑱	横通し用パイプ	25×175mm cm	4	
⑧	オイルレスガススプリング	150N	4		⑲	戸当り用パイプ	22×110(HH) mm cm	4	
⑨	扉用ボルトナット	M5×25mm mm	12		⑳	扉用パイプ①	19×160(HHH) mm cm	4	
⑩	ボルトナット①	M4×30mm mm	8		㉑	扉用パイプ②	19×80mm cm	2	
⑪	ボルトナット②	M4×25mm mm	8		㉒	扉用パイプ③	19×80(HH) mm cm	4	

**準備する工具**



※本商品のジョイントのネジの締め込みはプラスドライバー等を用いた手動の組み立てを前提に準備しています。  
 電動工具をご利用の際は、テンションをかけすぎますと部品破損の恐れがありますので、ご注意ください。

替幌シートのお求めは、本商品をお求め頂きました販売店様に、お問合せいただけます。

**NAN-1** CORPORATION  
 製造発売元 南榮工業株式会社  
 〒885-0004 宮崎県都城市都北町5025  
 TEL 0986-38-0111

## 安全上のご注意

この商品を安全に正しく使用して頂く為に、組立られる前、また使用される前にこの『安全上のご注意』を良くお読みの上、十分に理解して頂き正しくご使用ください。

●ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので必ず守ってください。

●表示の意味は次のようになっています。



### 警告

誤った取り扱いをした時、人が死亡または、重傷を負う可能性が、想定される内容を示します。



### 注意

誤った取り扱いをした時、人が重傷を負ったり物的損害の発生が、想定される内容を示します。



### 警告

- ◇使用前には、フレームとシートの点検を必ず行ってください。(フレームの変形、シートの破れキズ、各 부품のネジ・ボルトの緩み等)
- ◇フレームが破損した場合は、非常に危険ですので使用を中止して、当製品をお買い上げになった販売店にて、交換部材等をお買い求めになり、正しく取付けられた後、安全を確認してから使用してください。
- ◇走行中の外れ等、万が一の危険を想定して荷台への固定等は確実にしっかり行ってください。
- ◇風対策としてのフレームと荷台の固定を別途行って頂きます様お勧めします。
- ◇強風・あるいは降雪が予想される時は、使用を中止してフレームとシートを取り外して別途保管してください。
- ◇フレームの上に載ったり、過重がかかるような使用は絶対に行わないでください。



### 注意

- ◇フレームに物を掛けたり、ぶらさがらないでください。(特に子供さんには十分注意をしてください。)
- ◇軽トラック幌本来の機能(荷台への雨・風・日光よけ)以外で使用しないでください。
- ◆組み立て・シート取付け等の作業には十分に安全を確認してください。
- ◆**時速80km以上(高速道路)の走行は危険ですので止めてください。**
- ◇ ゴムバンド取扱い上の注意
  1. ゴムの中に含まれている油分の浸透により、色移りする場合がありますので、使用時には養生等を行なってください。
  2. ゴムバンドを使用する際は、跳ね返りやゴムが切れる場合がありますので、引張る直線上に人がいないように注意して使用ください。
  3. ゴム表面にひび割れやキズ等が発生した場合は、使用を避けてください。
  4. 高温の場合での使用は避けてください。
  5. 伸張力を最大に伸ばして使用の場合、風圧等で切れる場合がありますのでよく確認をしてから使用してください。

この組立説明書及び『安全上のご注意』は、事故防止と部品交換時の為に大切に保管してください。

# 軽トラック幌セット

# KH-7



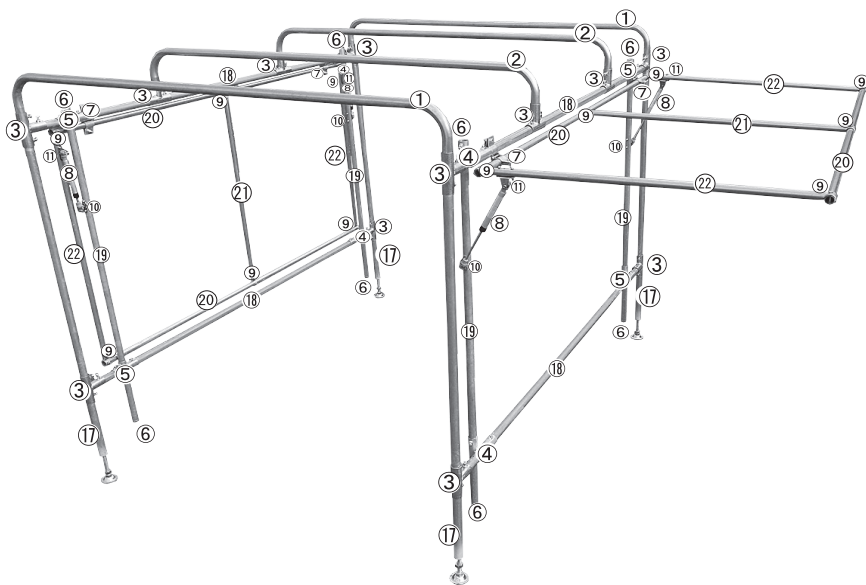
保存

【2202】



# 軽トラック幌セット KH-7

## パイプ骨組部品構成図解

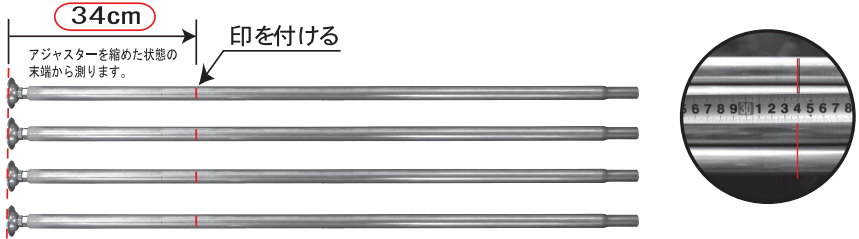


※ 構成の目安です。本商品の組み立ては、  
『部材表』・『組立説明書』の手順を  
参考に行ってください。

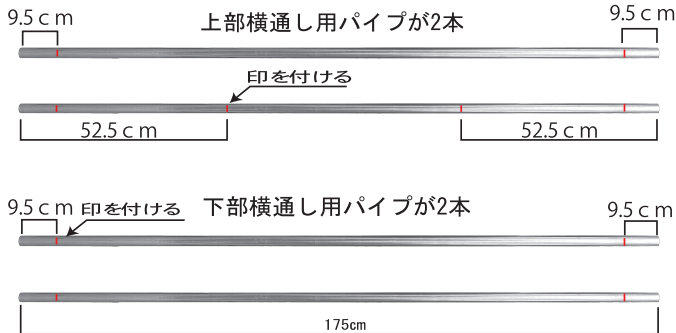


## 1 脚用パイプと横通し用パイプに印を付けます。

- ⑰脚用パイプを4本準備します。③パイプジョイントを取付ける位置の印を付けます。

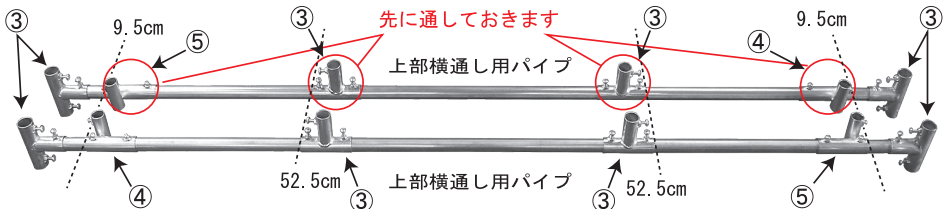


- ⑱横通し用パイプ4本に、④⑤T型ジョイント、③パイプジョイントを取付ける位置の印を付けます



## 2 上部横通し用パイプを組立てます。

- 52.5cmの印付き⑱横通し用パイプを2本、③パイプジョイント8個、④T型ジョイント2個、⑤T型ジョイント2個を準備します。⑱横通し用パイプに、③・④・⑤各ジョイントを取付けます。

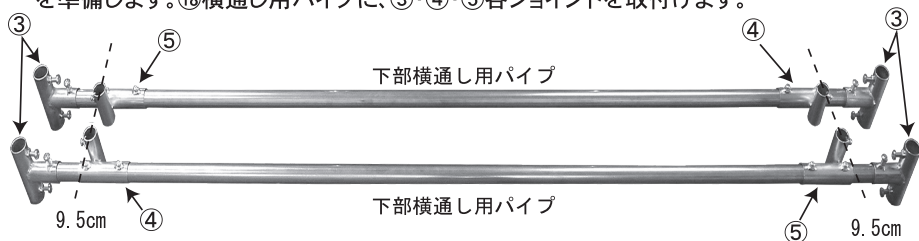


※各ジョイントは、印（上記、点線）の内側に合わせます

※各ジョイントのネジを軽く留め、各ジョイントが垂直になるようにして仮留めをします。

### 3 下部横通し用パイプを組立てます。

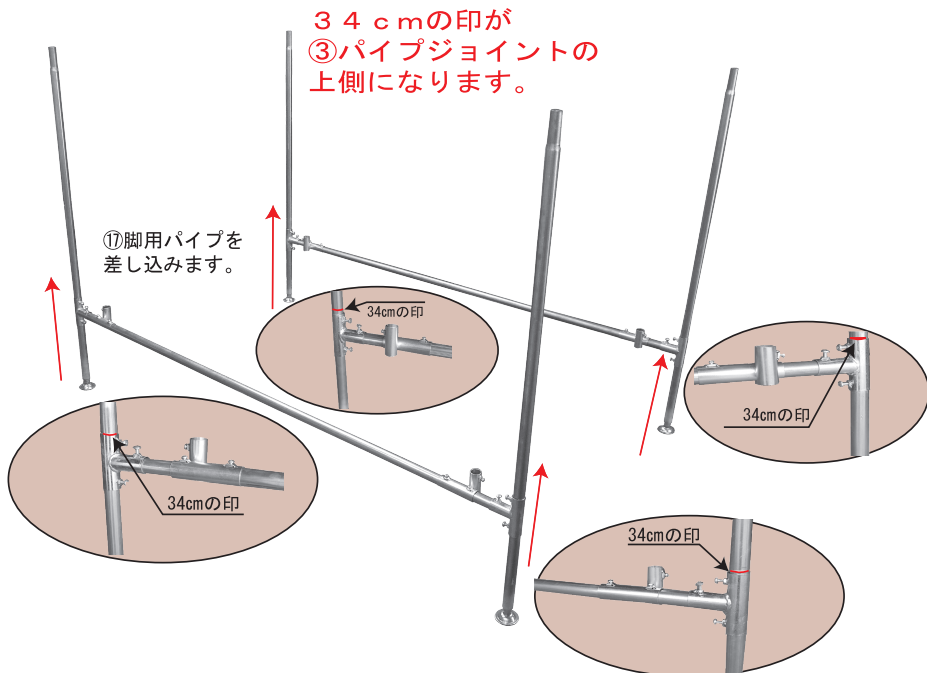
- ⑬横通し用パイプを2本、③パイプジョイント4個、④T型ジョイント2個、⑤T型ジョイント2個を準備します。⑬横通し用パイプに、③・④・⑤各ジョイントを取付けます。



※各ジョイントのネジを軽く留め、各ジョイントが垂直になるようにして仮留めをします。

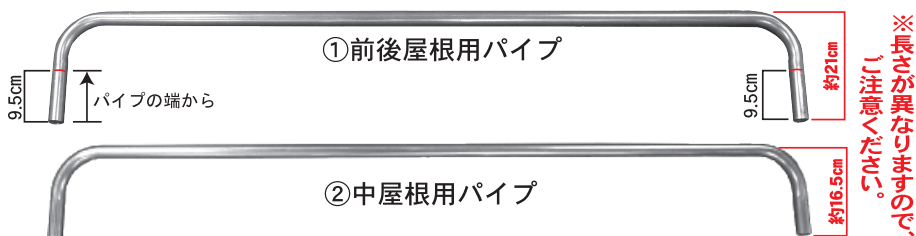
### 4 脚用パイプと下部横通し用パイプを組立てます。

- 下部横通し用パイプを2本準備し、両端の③パイプジョイントに、⑰脚用パイプを差し込み、印の位置でネジを締め込み固定します。

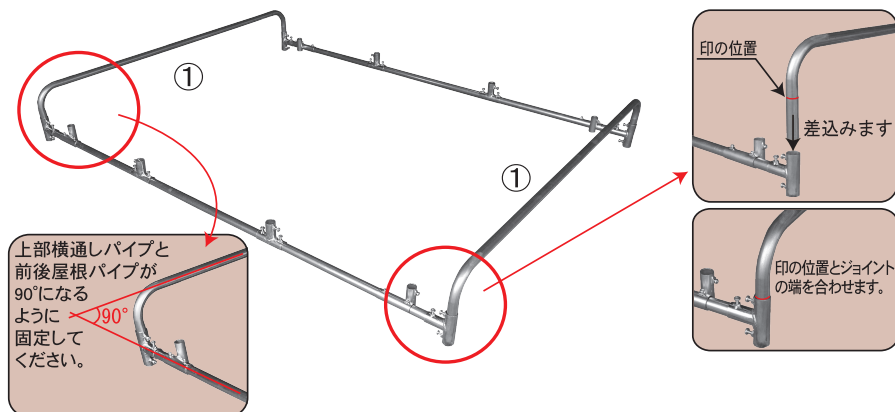


## 5 屋根部分を組立てます。

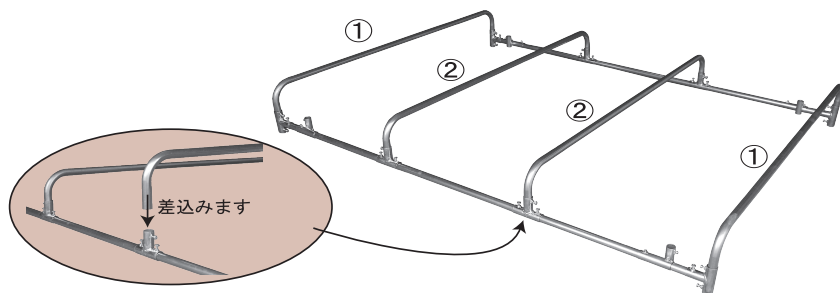
- ①前後屋根用パイプ2本、②中屋根用パイプ2本を準備し、①前後屋根用パイプにパイプ末端から、9.5cmの位置に印を付けます。



- ①前後屋根用パイプ2本を、上部横通し用パイプ端部の③パイプジョイントに印の位置まで差込み、四隅が90度になるように調整したあと、ネジを軽く締め込み仮固定します。

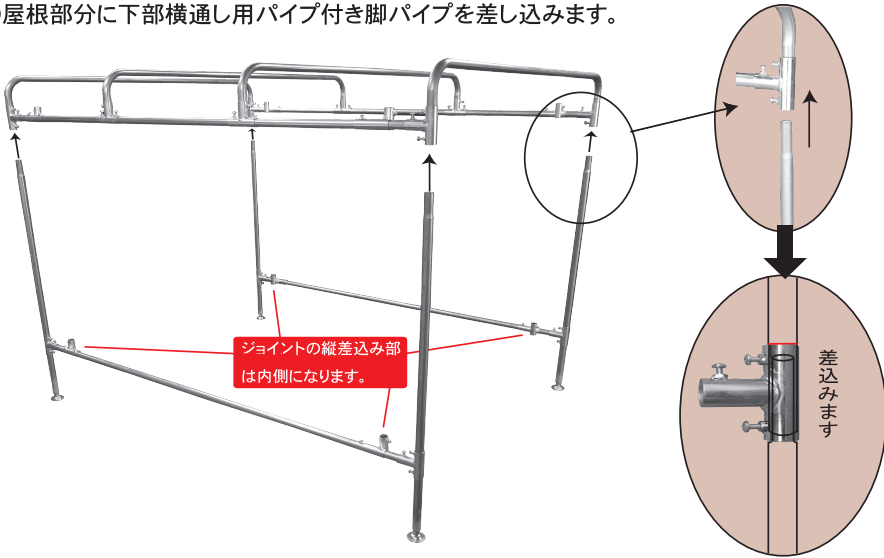


- ②中屋根用パイプ2本を、上部横通し用パイプの残りの③パイプジョイントに差込みます。ネジを締め込み固定します。

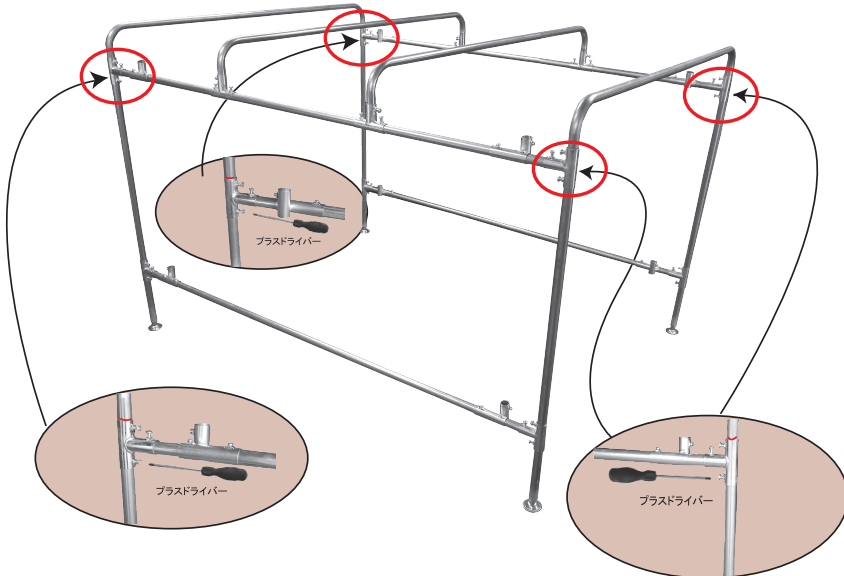


## 6 屋根部分と脚パイプを組立てます。

- 屋根部分に下部横通し用パイプ付き脚パイプを差し込みます。

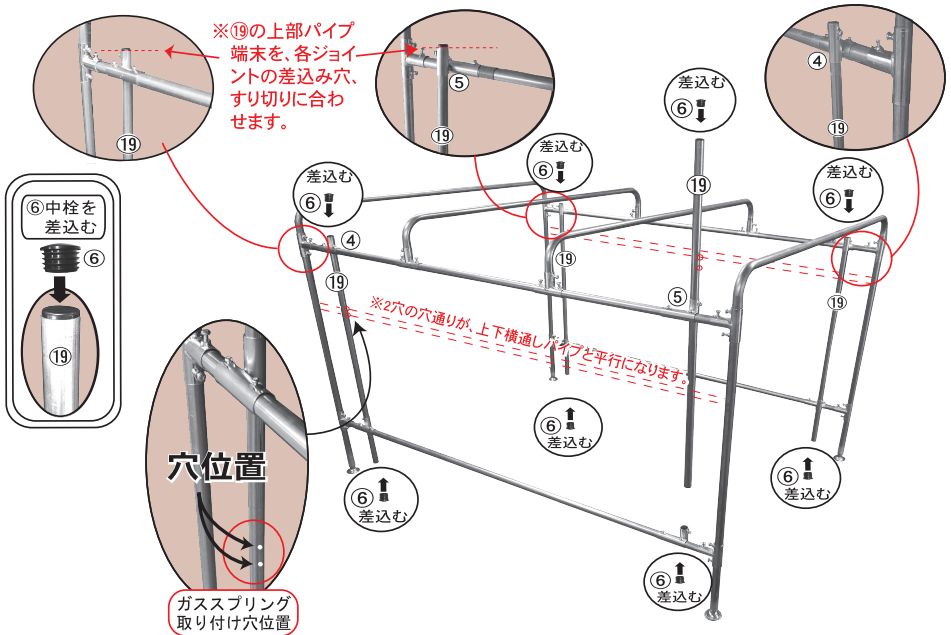


- ③パイプジョイントの、仮留めしていた上下2箇所のネジを締め込み、しっかりと固定します。



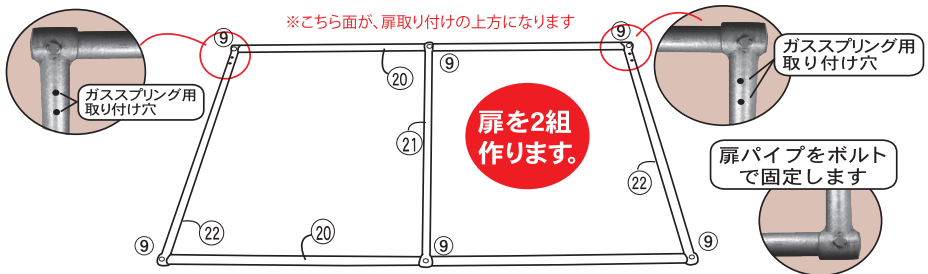
## 7 戸当り用パイプを取付けます。

- ⑬戸当り用パイプを4本準備し、上下横通し用パイプの④⑤T型ジョイントに差込みます。
  - ・⑬戸当り用パイプにある2穴の位置(⑧ガススプリング取付け穴)は上方になります。穴の通り方向は、上下横通し用パイプに平行するように調整します。
  - ・⑬戸当り用パイプ上部末端を④⑤T型ジョイントの差込穴上部のすり切りに合わせて設置し、ジョイントのネジを締め込み固定します。
  - ・⑥中栓を⑬戸当り用パイプの上下に取り付けます。



## 8 扉を組立てます。

- ⑳扉用パイプを4本、㉑扉用パイプを2本、㉒扉用パイプを4本、⑨扉用ボルト・ナット12組を準備します。ガススプリング取付け穴の位置を確認しながら、扉を2枚作ります。

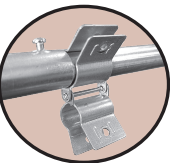


## 9 扉を取り付け、ガสปリング(扉開閉用金具)を取り付けます。

● ⑧ で作成した扉を、⑦蝶番で取り付けます。(左右)

● ⑧ガสปリング2本を、⑩・⑪ボルトナットで取り付け、固定していきます。(左右)

※蝶番にパイプサイズの刻印があります。取り付けるパイプサイズや、移動領域(扉が外に開く)を確認して取付けてください。



(内側) (外側)

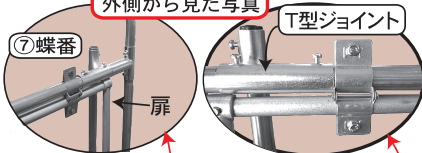
25Φ  
19Φ  
⊕

左図のように蝶番のボルト部が垂直になるように取り付ける。  
(ボルトは仮締めにして扉がきれいに閉まるように微調整を行ってください。)

※⑧ガสปリングを取り付けていきます。

- ⑦蝶番を取り付けた後、扉を開いた状態で
- ⑧の取り付け作業を行います。
- ⑩ボルト・ナットで ⑱戸当り用パイプに。
- ⑪ボルト・ナットで ⑳扉用パイプに取り付け、固定していきます。
- ⑱戸当り用パイプと⑧ガスポリングが平行になるように調整してください。

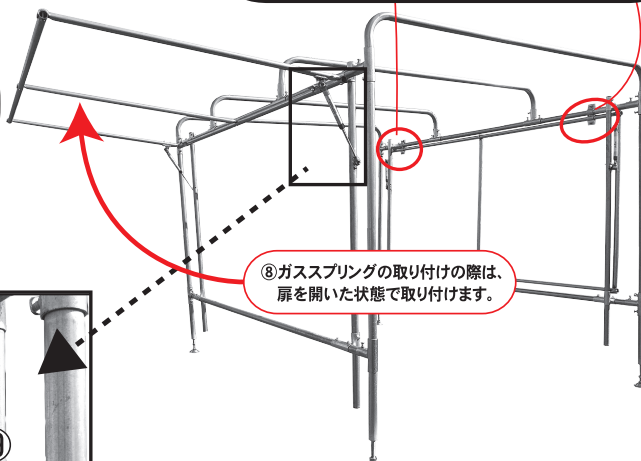
外側から見た写真



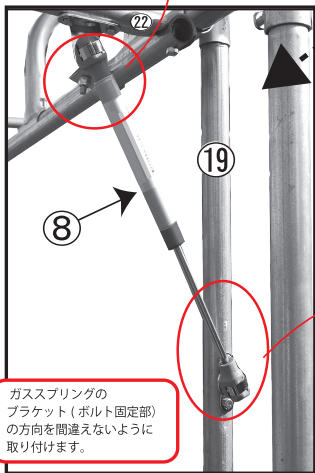
※⑦蝶番の取付けはT型ジョイントのすぐ横に取付けます



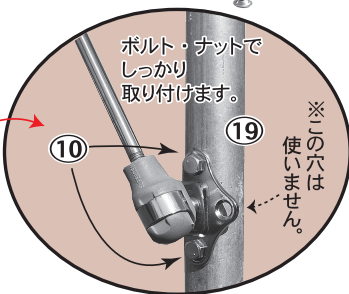
⑪  
ボルト・ナットで  
しっかり  
取り付けます。



⑧ガスポリングの取り付けの際は、  
扉を開いた状態で取り付けます。



ガスポリングの  
ブラケット(ボルト固定部)  
の方向を間違えないように  
取り付けます。



ボルト・ナットで  
しっかり  
取り付けます。

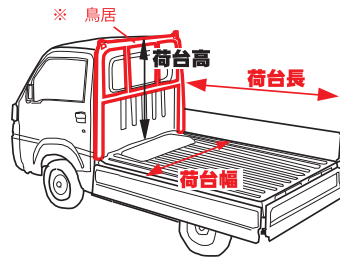
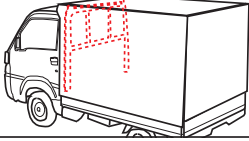
※この穴は  
使いません。

※骨組組立の仕上げに  
各用品のネジをしっかり  
締め込み、緩みが無いか  
確認してください。



## 10 脚パイプのアジャスターを各車の目安幅に調整します。

※ 幌の取り付けについて。  
幌の取り付けは、軽トラック鳥居部を包み込み、キャビン屋根部に密着させるように取り付けます。



各メーカーの軽トラックは、  
荷台幅 1410mm  
荷台長 1940mm※、で共通。

(※ 荷台長は、年代、メーカーによって、1920mm～1940mmと違いがありますが、当社の幌取り付けには、問題はありません。)

**荷台高が各社で違いがあります。**

※鳥居と呼ばれる、(左図の赤線部分)長物の品物を載せたり、ロープで引っ掛け固定させたりする部分か、各メーカーにより違いがあります。

● アジャスターを仮調整します。 ※ハイルーフ・ジャンボ(グランドキャブ)は対象外になります。

### 高さ調整アジャスターの目安幅

※ 2014年12月新車販売比較



ダイハツ ハイゼット  
約3.5cm



ホンダ アクティ  
約0cm



スバル サンパー  
約3.5cm



スズキ キャリイ  
約3cm



日産 クリップパー  
約3cm



三菱 ミニキャブ  
約4.5cm



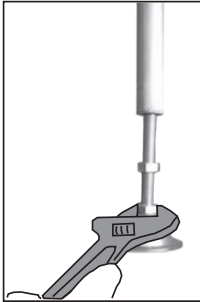
マツダ スクラム  
約3cm



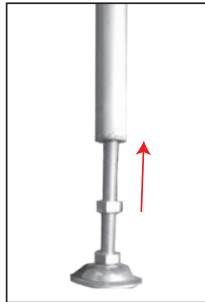
トヨタ ピカサス  
約3.5cm

目安幅ですので、各車に応じて、  
設置後の最終調整が必要です。

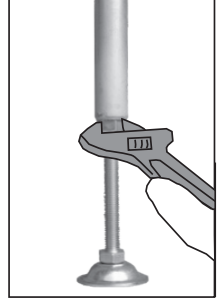
一、下ナットを回し、アジャスターを引き出します。



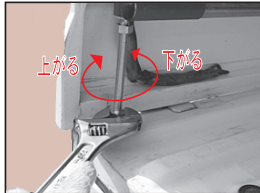
二、引き出された上ナットは、上に移動します。



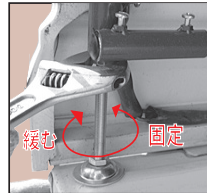
三、上ナットと下ナットの間隔(目安幅)を図り、ナットを締め、仮固定します。



※幌天幕を設置後、鳥居部の幕カブリ具合に合わせ、微調整してください。



高さ調整は、アジャスター下ナットです。  
右回しで、幌セットが上がります。  
左回しで、幌セットが下がります。



アジャスター上ナットは、**固定用**になります。  
高さ調整の際は、**緩めて**作業してください。

## 11 軽トラックにパイプ骨組を乗せ、幌天幕を被せます。

- ⑯幌天幕を準備し、全ファスナーを開いておきます。
- 軽トラック後ろのアオリを倒し、組立てた骨組を乗せ、開いた幌天幕を被せていきます。



- パイプ骨組を乗せます。



- 幌天幕を被せます。

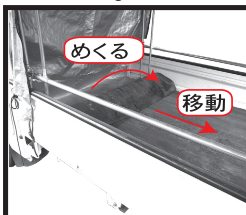
### 注意

- ※この幌を使用時は必ずトラックマットを使用してください。
- ※トラックマットは別売になります。
- ※前方から入ってくる雨水を荷台とトラックマットの間を流すようにしてください。

### ※被せた後の調整



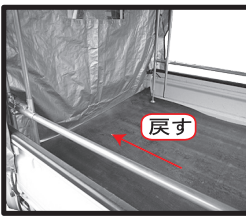
幌天幕前方の前幕裾部シートを、鳥居とパイプ骨組の間に差し込み、幌天幕前方に加工されているカブリ部を、鳥居に被せます。



パイプ骨組本体を、後ろに移動し、トラックマットをめくりあげ、前幕裾部のシートを広げます。



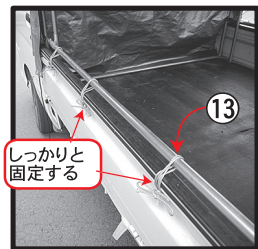
広げた前幕裾部のシートの上に、めくっていたトラックマットを、元に戻します。



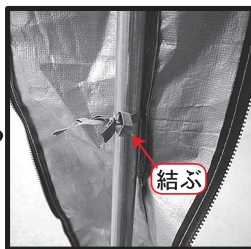
後ろに移動していたパイプ骨組本体を元に戻します。

## 12 パイプ骨組を軽トラックに固定し、幌天幕を結びつけていきます。

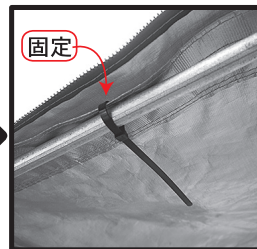
- ⑬固定用ロープ8本、⑭絞りクリップ2個、⑮ケーブルタイ10本を準備します。



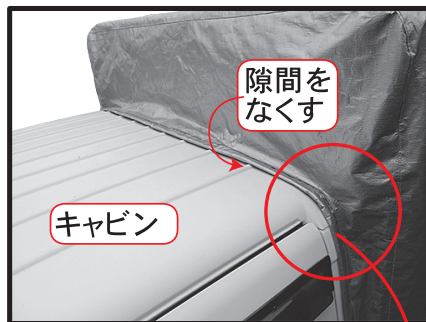
- パイプ骨組を⑬固定用ロープで、アオリのフック8箇所結びつけてしっかりと固定します。



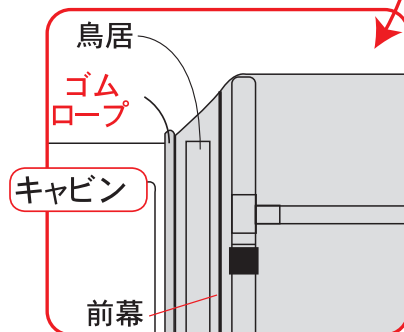
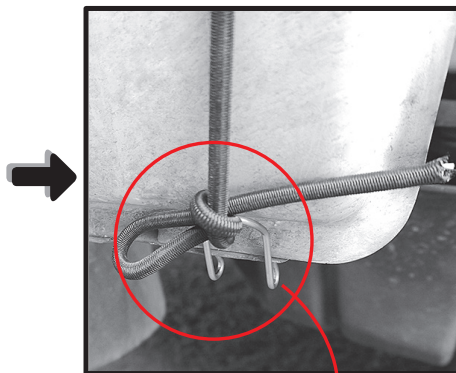
- 幌天幕に取付けられている紐を、パイプ骨組に結び付け固定します。



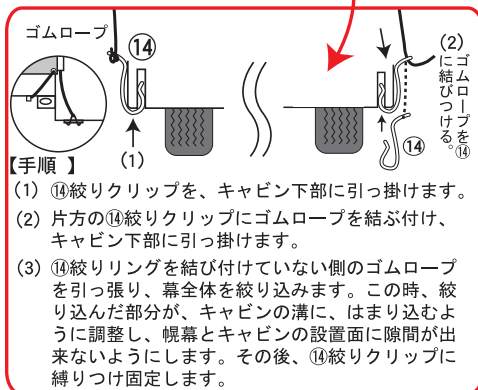
- パイプ骨組横部の扉用パイプに、⑮ケーブルタイで、幌幕を固定します。



- 前幕カブリ部を、キャビンの溝に合わせ込み、キャビンと幕の間に、隙間が出来ないように合わせ付けます。(車種により、溝の形状が異なります)

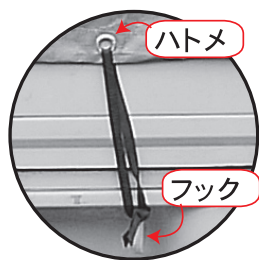


(キャビンに直接絞り込んだ状態)



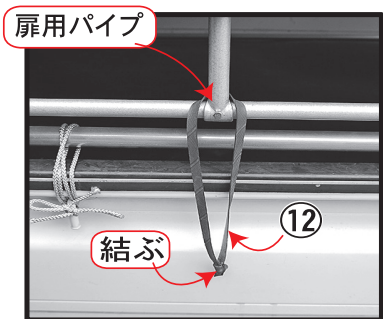
### 13 固定用ゴムバンドで、幌天幕を車体に固定してください。

- ⑫固定用ゴムバンド24本準備します。

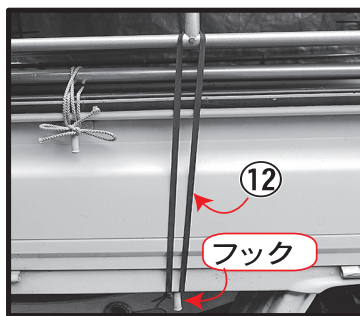


- ⑫固定用ゴムバンドを幌天幕のハトメに通し輪を作り車体のフックに引っ掛けます。

※幌天幕横扉部を、閉じた時の固定になります。開く場合は引っ掛けを外します。



- ⑫固定用ゴムバンドを扉パイプに結び付けます。



- ⑫固定用ゴムバンドを車体のフックに引っ掛けます。

#### 注意

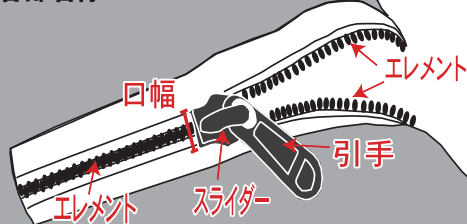
走行する際は、幌天幕をしっかりゴムバンドで固定してください。幌天幕にゆみがある状態で、走行を行いますと、バタつきが生じて幌天幕に負担がかかります。そのため、縫製箇所の破損や、シート寿命を縮める恐れがあります。たま、パイプ骨組にも悪影響を及ぼします。

\* 走行中に幌天幕が外れるおそれがあり、大変危険です。 \*

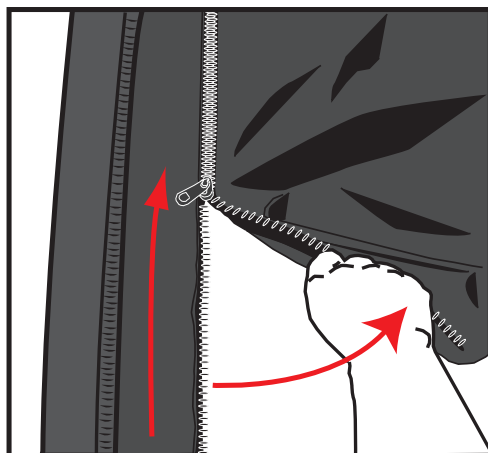
## ファスナーの取扱い

ファスナーの開閉につきましては必ず、引手を持ってスライダーを動かして行ってください。

各部名称



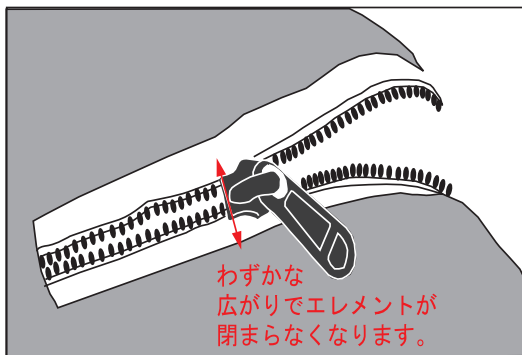
## ファスナー開閉でおこなってはいけない行為



幕生地を持ち、引っ張るように広げて、ファスナーを移動する行為は、スライダー部に大きな負担をあたえます。

スライダーは金属部品ですが、スライダー横部分に大きな負担がかかり、結果、口幅が広がっていきます。また、分解のおそれもあります。

スライダーの口幅が広くなってしまうと、スライダーによる左右ELEMENTの押さえが効かなくなります。ELEMENTがかみ合わなくなり、ファスナーが閉まりきらない状態です。



※ファスナー周辺の、小さいゴミ、泥等の付着はお気をつけください。

※金属スライダー部は、定期的な油さしをオススメします。